

# Interview

## 感染拡大の防止

# つじの 栄作 氏に聞く

医師、東京都議会議員(小金井市選出) / 都民ファーストの会

# 一人ひとりの行動意識の変革を



**【Profile】** 辻野 栄作 (つじの・えいさく)  
 東京都議会議員(都民ファーストの会所属)。北海道大学医学部医学科卒業後、医療法人社団一陽会陽和病院、医療法人社団慶竹会ほづみクリニック、外務省診療所等勤務し、文京区で「後楽園クリニック」を開業する。その後、小池百合子政経塾の「希望の塾」に入塾し、小金井市選出の東京都議会議員として当選。クリニックは令和二年一月に千代田区に移転し、現在も診療を継続している。医師免許を持ち臨床医でもある唯一の東京都議会議員として、都政と新型コロナウイルス感染症対策に従事する。

**【所属等】**  
 日本精神神経学会、東京精神神経科診療所協会

**【資格】**  
 精神保健指定医、日本精神神経学会認定専門医、日本医師会認定産業医、麻酔科標榜医

※写真は2020年以前に撮影

辻野栄作氏は精神科・麻酔科の医師で、二〇一七年七月、地域政党「都民ファーストの会」から東京都議会(小金井市)へ立候補し、当選。現在、医師免許を持ち、臨床医でもある唯一の都議会議員として活躍する。今回は医師で議員でもある立場から新型コロナウイルス感染症について、「緊急事態宣言」「緊急事態措置」と教育・医療への影響、議員として感じている事、都民にアプローチできること、歯科医師連携に関しての見解を伺ったほか、今後の歯科医療に期待することなどを伺った。

### 新型コロナウイルス感染拡大の抑制には必要な措置を加速して実施することが大切

「新型コロナウイルス(以下「新型コロナ」)による「緊急事態宣言」「緊急事態措置」の影響について。

「辻野栄作氏」緊急事態宣言「というのは、報道でもあったように、安倍総理大臣が発令して、都道府県知事が「緊急事態措置」として、四月七日から五月六日までの一カ月間、都民の皆様に対し、徹底した外出自粛などを要請するものです。不要不急の例外として、「医療機関へ通院」「食料品の買い出し」「職場への出勤」など、生活の維持に必要なものを掲げ、これらを除き、原則として外出しないこととしています。

「密集」「密接」という「三密」を避けることをスローガンに掲げ、人との間隔を

「緊急事態宣言」が発令された後、都道府県知事が「緊急事態措置」として、四月七日から五月六日までの一カ月間、都民の皆様に対し、徹底した外出自粛などを要請するものです。不要不急の例外として、「医療機関へ通院」「食料品の買い出し」「職場への出勤」など、生活の維持に必要なものを掲げ、これらを除き、原則として外出しないこととしています。

今回、東京都は「密閉」「密集」「密接」という「三密」を避けることをスローガンに掲げ、人との間隔を

「緊急事態宣言」が発令された後、都道府県知事が「緊急事態措置」として、四月七日から五月六日までの一カ月間、都民の皆様に対し、徹底した外出自粛などを要請するものです。不要不急の例外として、「医療機関へ通院」「食料品の買い出し」「職場への出勤」など、生活の維持に必要なものを掲げ、これらを除き、原則として外出しないこととしています。

今回、東京都は「密閉」「密集」「密接」という「三密」を避けることをスローガンに掲げ、人との間隔を

として診療を行ってきまし  
 た。当院でも今年二月から  
 現在に至るまで、患者さん  
 が減少する傾向がありま  
 す。私は、今回のウイルス  
 禍は産業界や飲食業など  
 同様に、医療界にも経営に  
 及ぼす影響が大きいと認識  
 しています。大きな医療法  
 人等、経済的に余力がある  
 医療・歯科診療所ではなく、  
 私のような医師一人の小規  
 模な医療機関では、患者数  
 が減り、適正な医療収入が  
 得られなくなると、経営困  
 難に至ることになります。

さらに、医療現場では医  
 療物資・衛生材料不足が起  
 きています。私の数年間の  
 外科研修医と麻酔科医の臨  
 床経験から察するところ、  
 マスク、ガウン、グローブ、  
 消毒薬などの医療物資や衛  
 生資材が足りない中で、特  
 に歯科も含めた外科系の医  
 療では、従前と同じ質を保  
 てることは、非常に難しい  
 と思います。

「辻野氏」子どもが自宅  
 での学習環境を整える  
 ことが大切

「辻野氏」子どもが自宅  
 での学習環境を整える  
 ことが大切

### トリアージ的な対応にならぬよう大切なこと

「都議会議員(政治家)と  
 して感じていること、思  
 っていること、都民にア  
 プロチできること。」

「辻野氏」中国の武漢と欧  
 米のニュースが入ってきて、  
 私は医師として、二月頃か  
 らウイルス学や公衆衛生分  
 野の知識と経験から強い危  
 機感を抱きました。当初は  
 ただの風邪の一種で、罹患  
 しても重症化しないといっ  
 た報道もあり、多くの皆様  
 はそれほど深刻には考  
 えていなかったと思います。当  
 時を振り返ると、医師とし  
 ての知識と経験、感覚で危  
 機感を持ちながら、議員と  
 して危機感を訴えていくの

「辻野氏」医療への影響について。

「辻野氏」私自身、精神科  
 の医師として、文京区と千  
 代田区で十年以上、開業医

「辻野氏」医療への影響について。

「辻野氏」私自身、精神科  
 の医師として、文京区と千  
 代田区で十年以上、開業医



医療物資が不足する中で、最前線で医療を支えるすべての方々に敬意と感謝を示し、「都民の皆様にもご理解いただきたい」と語る



都民ファーストの会として都民の皆様への安心と安全を確保するために、小池百合子都知事に新型コロナウイルス感染症対策を要望した

「これからも歯科医療には  
 都民・国民の健康づくりの連携が重要」

「辻野氏」超高齢化社会を  
 迎える中で、健康や  
 かに過ごすためには歯科の  
 オーラル・フレイル対策が  
 重要だ。

高齢の患者さんが増え、  
 さらに認知症の患者さんを  
 診る機会が増えてきていま  
 す。少子高齢社会を迎えて  
 る中で、歯科の先生や精神  
 科医、そして他の科も含め  
 て、総合的に国民の健康づ  
 くりを協力していき、連携  
 を図る必要があります。認  
 知症や精神疾患の患者さん  
 の中には、自分の身の安全  
 がいらない方もいますので、  
 その場合は患者さんの口腔  
 ケアも含めて全身の健康を  
 保つ工夫が大切です。さら  
 に、食べることは睡眠同様  
 に健康を測るわかりやすい  
 バロメータですから、いつ  
 までも美味しく食べるため

「辻野氏」明日があるか  
 と思う。いまを生きてい  
 ます。そのうちとか「後  
 回し」にかかるとは、後  
 今できることを一所懸命  
 しました。」

「辻野氏」明日があるか  
 と思う。いまを生きてい  
 ます。そのうちとか「後  
 回し」にかかるとは、後  
 今できることを一所懸命  
 しました。」